



Khatsalano Day へのお誘い



主催：Granstream <http://granstream.jp/>

技術講師：近藤 恭輔 <http://www.kondokyosuke.net>

Khatsalano Day ~カヤックで自由に旅するためのレッスン~

カ サラノは難しい！！

よく聞き、目にする言葉ですが、カサラノを操るために必須と考えられる技術はさほど多くはありません。さほど多くはありませんが、ほかのフェザークラフトの艇より「正確」に行う必要はあります。

「カサラノ」を象徴として挙げていますが、ほかのフェザークラフト艇でも有用な情報です。むしろ、ある程度のレベルまでのサポートを、艇や器具（ラダーなど）がカバーしている分、器具の故障や限界を超えた場合のリスクは、カサラノ以外の艇のほうが高いともいえます。

そ の情報はどこにあるのか？

パドリングの入門書では、技術の羅列はされていますが、優先順位やそれぞれの技術どうしの関連性までに踏み込んで解説されたものではありません。

たとえあったとしても、文章と写真でそれを伝えきるのは難しいでしょう。

いわゆる「カヤックスクール」は、ほとんどが川で開催され、技術的な面では非常に高いスキルを提供していますが、「カサラノで海を旅する」には不要な技術や、オーバースペックな技術であることが多いと思われます。

それ以前に、「カサラノで海を旅する」ことをしたい方が、川のスクールに興味を抱くとは考えにくいと思います。

シーカヤックのツアーでは、「どこかに漕いでいくこと」が目的となり、シーカヤックツアーリング全体のスキルを身につける場でもあるため、漕ぐことそのものはすでにクリアできていることが大前提となり、技術の習得とはまた別のレベルの場となります。

そこで、

旅をする道具としてカサラノを使えるようなレベルまで漕艇技術を向上させるという内容に特化したレッスンを開催することになりました。

で は、どんな技術を正確に行う必要があるのか？

次のページから、紹介していきましょう...

カサラノを操るには

旅をする道具としてカサラノを使えるようなレベルに必要な技術を以下のように分類しました。それぞれは密接に関係していて、ひとつができていれば、ほかの技術もある程度はできてしまいます。

これらの技術について、闇雲に「練習」をしても遠回りをしてしまいますので、押さえるべきポイントをしっかり押さえ、効率よく漕艇技術を向上させるのが、このレッスンの目的です。

カサラノを操作するために必要なスキル

技術の一覧

1. パドル操作

- ・フォワード
- ・スweep
- ・スターンラダー
- (・グリーンランドパドルの使い方)

2. 傾けのコントロール

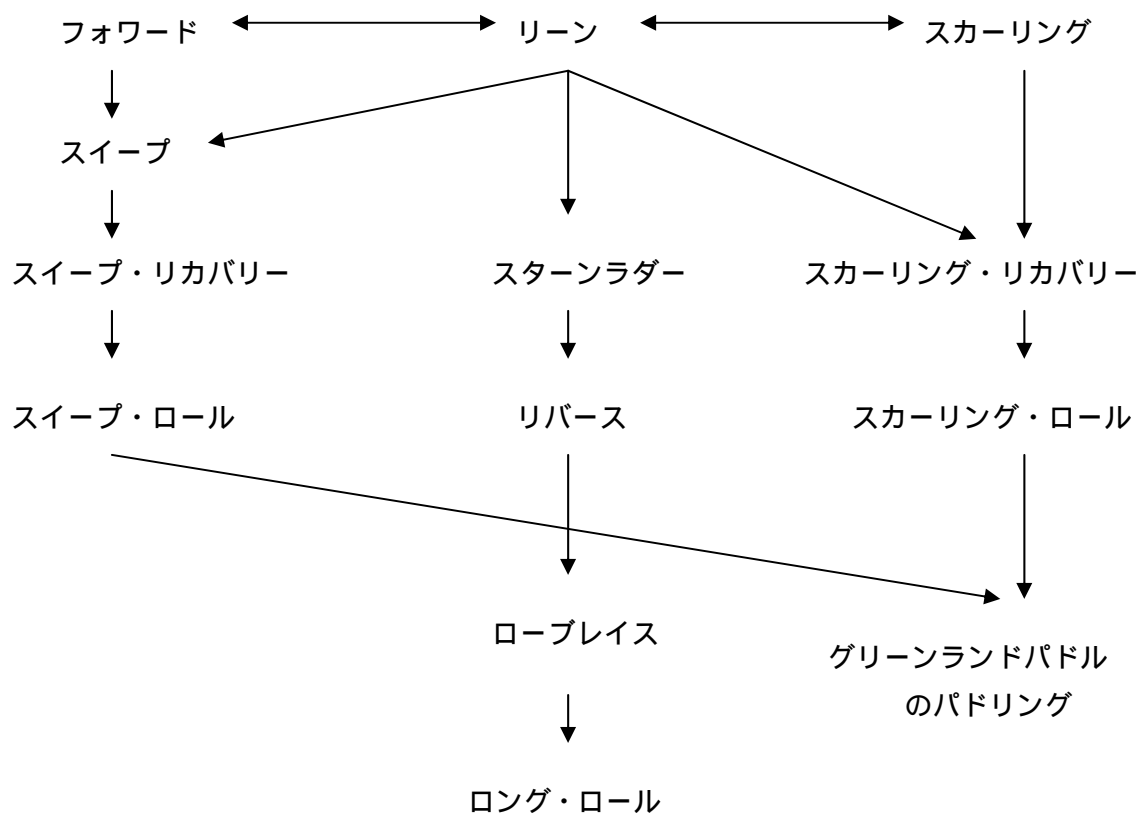
- ・左右の傾け(リーン)
- ・前後の体重移動
- ・波・風の中でのリーンと体重移動のコントロール

3. リカバリー

- ・ローブレイス
- ・スweep・リカバリー
- ・スカーリング
- (・ロール)

*ここでは、ナビゲーションやセルフレスキューなど、シーカヤック全般に必要な技術は除いています。

技術の相関図



何回

くらいの講習で、これらの技術が網羅されるのか？

これらの技術を、シーズン中に5から7回に分けて講習します。

すべての講習会に参加しないと全貌がつかめない、というわけではありません。

各回で、それぞれ重点的にお話しするテーマはありますので、繰り返して参加していただくのがベストですが、毎回、前の回や先の講習の内容もお話しつつ、全体像が掴みやすいように進めていきます。

各講習の基本内容は決めています。各講習に参加されるユーザー様個々のレベル、その場の空気、ユーザー・講師の思いつきなどによって、柔軟に対応しています。

カサラノユーザーはもとより、もっと漕げるようになりたい！という方は大歓迎です。

カヤックで旅に出ましょう。

Let your adventure unfolds.

非日常もかばんから取り出して広げよう。

フェザークラフト WebPage (旧版)より